



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



学校訪問がありました

7/10(木)

北教育事務所

山本出張所長訪問

山本出張所長様はじめ4名の方々が来校し、学習に取り組んでいる子どもたちの様子を参観していただきました。これは、学校の様子や先生方の指導力向上について助言をいただくものです。友達と考えを繋ぎながら学習を進めたり、課題に集中して取り組んだりする子どもたちの姿に、お褒めの言葉をいただきました。

ご指導いただいたことを生かして、これまで以上に、一人一人に寄り添った「わかる」「できる」授業づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



1年1組 道徳
「ほくのこと きみのこと」
「大好きなこと」を
続けた主人公の姿から、
自分のよいところを見
つけようと、自分自身
と向き合っていました。



2年1組 算数
「水のかさのたんい」
以前、学習した長さ
の学習を基に、体積の
単位を用いて、2つの
容器の体積の表し方を
考えています。



3年1組 算数
「数をよく見て
暗算で計算しよう」
2けた+2けたのた
し算の答えを、暗算で
求める方法を考えてい
ます。



3・5年2組 生活単元
「すくろくで遊ぼう
パート3」
すくろく遊びを楽しみ
ながら、ローマ字を読ん
だり書いたりする力を身
に付けています。



3年3組 生活単元
「6月の思い出を
まとめよう」
スライドを見て、6
月の思い出として残し
たい写真を選んでいま
す。



4年1組 国語
「二つの花」
戦時下、出征する父
親が一つの花に込めた
思いについて、叙述を
もとに深く考えていま
す。



5年1組 社会
「あたたかい
土地のくらし」
沖縄県の気候や家の
つくりから抱いた疑問
をもとに、学習課題を
つくっています。



6年1組 算数
「割合の表し方を
調べよう」
比の性質や線分図を
用いて、部分の比から
部分の量を求めようと
考えています。

かもめ読み聞かせ



7月9日(火)、1学期最後の読み聞かせがありました。

1年生では、若山甲介さんの「なぜ、セタにささかざりをするの？」の読み聞かせでした。

織姫と彦星のお話は、小さいころ聞いた覚えがありますが、笹を飾ることについては聞いたことがありません。

子どもたちは興味深くお話に聞き入っていました。



今週の一枚

7月11日(木)、町の保護司と更生保護女性会の方々による「あいさつ運動」がありました。集まってくださった方は8名。児童玄関前で子どもたちを、大きなあいさつで迎えたださいました。

たくさんの方々が日々見守ってくださっていることに感謝します。



地区児童会 ～安全な夏休みを～



7月8日(月)に地区児童会が行われました。夏休みに向け、安全に過ごすための約束事や地区の危険箇所などの確認などを行いました。

PTA校外生活部員も参加して、ご助言いただきました。

夏休みまであと10日あまり。確認し合ったことをしっかり守って、安全で楽しい夏休みを過ごしてほしいと思います。



歯科教室



7月9日(火)、1年生を対象とした歯磨き教室が行われました。歯の模型を使って磨き方を教えてもらってから、実際に歯を磨きました。よごれが赤くなる薬品でどこに磨き残しがあるか調べてみました。

鏡を見ながら、意外に磨き残しがあることに驚いていました。



都知事選を終えて想うこと



東京都知事選は、現職の再選で幕を閉じました。今回の選挙活動については、違法ではないものの、不適切な印象を与えるポスターや政見放送などが散見し、候補者視点での選挙の在り方を考えさせられました。

さて、民主主義が世界一進んでいるといわれているノルウェーの小学校では、社会科の授業の環境として、模擬選挙が行われるそうです。

ノルウェーの国会の選挙は比例代表制で、子どもたちは実際に存在する複数の政党の中からグループで一つを担当し、その政党の主張を調べ、模擬選挙用のポスターを作ります。

必ずしも好きな政党を担当するとは限りませんが、様々な政党の主張を知ることと勉強の一つだといえます。校内でポスターを掲げ、投票を呼びかけ、実際の選挙の数日前に投票を行います。選挙管理委員の役割も子どもたちに担わせ、私語を慎む厳粛な雰囲気の中で行うことに、「投票は自分一人だけの行動だということを徹底させるため」と担当の先生は言います。

一連の協働学習を通して、選挙の「仕組み」を理解するだけでなく、自国が抱える課題や選挙制度における課題、そして「民主主義とは何か」を学ぶ貴重な機会になっているようです。

日本では、文科省が2020年度から、小学校の学習指導要領で「主権者教育の充実」をうたっており、社会科の政治単元の学習を基盤に、特別活動の時間等も活用しながら、政治の意義に触れる学習をしています。

将来、子どもたちが「自分ごと」として、政治や社会に主体的に関わっていくためにも、私たち大人も健全な民主主義の在り方について、考えていく必要があると感じました。

(参考・引用 「毎日小学生新聞」)

